

令和7年度 第1回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
1	運営方針の自己評価の前提となる区民アンケートの数値が、前年度と比べて変動の幅があると感じる。原因について、アンケートの仕組みから確認したい。 3-1魅力あるまちづくり プロセス指標「桜ノ宮ビーチに行ったことがあると回答した区民の割合」が目標33%とのことだが、前年度の数字を教えてください。	花田委員	アンケートは年に2回、1,500名の無作為抽出を行い実施しております。若年層の回答率は若干低い状況にあります。 本来であればアンケートは全員からご回答いただくことが望ましいですが、費用等の問題があるため、1500名の無作為抽出を行い実施しています。引き続き、オンライン回答や設問数の厳選、回答しやすい工夫を行い改善していきたいと考えています。 「桜ノ宮ビーチに行ったことがあると回答した区民の割合」について、前年度の数字は30%でした。	(当日回答のとおり)	政策企画
2	1-1防災のまちづくりについて、アウトカムでは目標を下回っていますがプロセス指標は高い数値を示している。これを踏まえ、今年度は新たにどのようなことをするのか。	下影委員	今年度新たな取り組みとして、地震本を発行し、都島区全戸に配布する予定です。マンション防災や在宅避難の方法を盛り込む予定です。 また、防災教育の観点から、中高生が参加できるユース防災リーダーの取組を計画しています。	(当日回答のとおり)	防災安全
3	区民アンケートの回答率を教えてください。若い世代の回答が少なく回答する世代に限られているなら、アンケート結果に偏りが出て、皆の意見を聞けていないのではないか。	後藤委員	アンケートの回収率は約35%です。 若年層の回答率が低いことから、質問を答えやすくする工夫やオンライン回答の促進を行うとともにアンケートを目に留まりやすくする工夫を行っています。	(アンケートの回答率の修正) 令和6年度第1回区民アンケート回答率 38.6% 令和6年度第2回区民アンケート回答率 39.0%	政策企画
4	1-1防災のまちづくりのアウトカム指標「災害への備えができていると回答した区民の割合」が、5年度60%、6年度66%だが、これは地震以外の災害も含んだ設問なのか。その定義について教えてください。	岡本委員	設問の災害の定義としては地震に加え風水害など全ての災害を指しています。	(当日回答のとおり)	防災安全

令和7年度 第1回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
5	4-1区民の声が区政に反映される仕組みづくりの、プロセス指標「区役所からの情報を電子媒体（ホームページ・SNS）で入手したことがあると回答した割合」18%が、目標に対して達していない状態。資料2の14ページ経営課題4の現状に対するグラフを見ると、情報を入手しているのは広報誌が多い。 若い人がアンケートに回答しない層だと思うが、アナログのものは、若い人たちは見ていない。 そう考えると、電子媒体をうまく使うと良いのではないか。例えばアンケートを、アナログの紙だけでなく、ホームページのどちらかを選ぶような形にすれば、もう少し上がったのではないかな。	下影委員	区民アンケートは、インターネットなどを介した回答という手法も取り入れております。 アンケートだけでなく、広報等のあり方についても、興味を引くコンテンツなどの提供や、ターゲットに応じた広報のやり方など工夫してまいります。	(当日回答のとおり)	政策企画
6	区役所の広報は、紙媒体に加えて、YouTube、X、Instagram、各種取り組まれていると思うが、資料2の14ページ経営課題4の現状に対するグラフでは、SNSが横ばいのように見える。SNSについて、その稼働率、再生率が上がるような取組をしていると聞いたが、その効果というのは現状どうなっているのか。	高野委員	区役所のSNSについて、XとYouTube、Instagram、LINEで情報発信をしております。現状SNSにつきましては、年齢層が上がると、なかなか見ていただけないと状況ではありますが、LINEにつきましては、幅広い年代で利用者数が非常に多いSNSになっていますので、LINEを活用した広報に力を入れていきたいと考えています。 また、あらゆる年齢層の方に情報を発信できるよう、広報誌等で都島区からの情報を受けられるLINEの受信設定の仕方についても発信してまいります。	(当日回答のとおり)	政策企画
7	3-2未来の都島を担う人材育成について、アウトカム指標とプロセス指標の間の連携性・整合性が十分ではないと感じる。プロセス指標の数値が上がっても、アウトカム指標は上がらないのではないかな。プロセス指標として考えられるものがあればお聞かせ願いたい。	花田委員	ご指摘の通りプロセス指標とアウトカム指標の乖離はあると思います。アウトカム指標は学校現場の活動についての質問であり、プロセス指標は区役所が学校のサポートを行う事業についての質問で、直接の関係性を持たせるのは難しいものがあります。 学校を直接支援する取組としては、一例としてキャリア教育のサポートや情報リテラシー強化などが考えられます。 今後のアウトカム指標、プロセス指標の工夫や関係性なども検討してまいります。	(当日回答のとおり)	こども教育
8	ビジョン2025と2030の違いを説明してほしい。	菱池委員	運営方針の自己評価の際にもご説明しましたが、当区が行っている施策の方向性は大きく間違っておらず、現在の施策を強化していく必要があると考えています。そのため、新ビジョン2030は、2025の中身を整理し、見やすく構成しました。4つの柱を立て、それぞれの目的が達成されることで、これらの4つの柱が相互作用し、区の将来像や進むべき道につながることをめざしています。	(当日回答のとおり)	政策企画

令和7年度 第1回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
9	3-2未来の都島を担う人材育成に関連して、PTAと地域や年配者の考えが異なり、若い世代の協力を得ることが難しいのが現状。夏祭りの太鼓や祭囃子を子どもたちに教える人材も高齢化し、中間がいなくて、指導者が不足している。若い人たちに地域でやっていることをもっと知ってもらうため、広報誌やLINEなどで区から情報を発信してもらえれば、次世代の担い手が出てくるのではないかと思う。	谷委員	区の情報発信については、広報誌に加え、LINEや各種SNSを活用しています。若い方は広報誌を見られる方が少ない現状もあるかと思うので、LINEやX、Instagramでの発信も強化していきます。内容につきましても、若者が興味をもっていただけるような発信に努めてまいります。	(当日回答のとおり)	政策企画
10	・2-1コミュニティ豊かなまちづくりについて、町会加入率の低下が問題。特にマンションが多い地域では加入率が低く、人と人のつながりが不足していると感じる。町会の活動だけでは若者の参加を促しにくいので、区役所として支援をお願いしたい。 ・町会の加入率の低下については、多くの方々が関心を持っており、町内会も含め、我々区民も危機感を抱いている。 次の新しい区政会議委員の任期においても、継続的に議題として取り上げ、連携してアプローチしていくべき課題と感じている。今後の議題として適切にセッションを設定し、この課題に対する連携の強化を求める。	西委員 高野委員	町会加入率の低下は、区役所としても課題と認識しています。昨年度、都島区でも町会加入アクションプランを策定し、町会加入率向上をめざす取組を進めております。 マンションが比較的多い地域は、町会加入率が低い状況は数値的にも現れています。現在、各地域の担い手の方は、お祭りや事業、防災訓練など、できるだけ参加していただいて輪を広げていこうと取組をされています。 区役所では、広く地域のよさを皆さんに知っていただけるよう「ひと×まちFile」として活動されている事業や人を地域ごとにホームページに掲載させていただいています。地域の皆様と一緒にあって継続的に取り組みを進め、地域の良さを広め、参加を促進していきたいと思いますので、ご支援をよろしくお願いします。	(当日回答のとおり)	市民協働
11	まちづくりビジョン2040と将来ビジョン2030の違いについて、教えてほしい。 まちづくりビジョンのは15年の長期計画だが、関連する上位計画Beyond EXPO 2025や大阪府のまちづくりグランドデザイン、大阪城公園周辺まちづくり方針などそれぞれの計画期間についても教えてほしい。	花田委員	まちづくりビジョン2040と将来ビジョン2030の違いについて、将来ビジョンは区政全般を対象としているのに対し、まちづくりビジョンはさらに長期的な視点で、北部地域、中部地域、南部地域といったエリアごとの戦略・めざすべき将来像を設定し、取組を進めていくものです。 それぞれの上位計画について、Beyond EXPO 2025は、万博後の将来の大阪の姿、5年後、10年後の将来像を描くもの、まちづくりグランドデザインは2050年を目標とし、大阪全体のまちづくりの方針を示しております。大阪城公園周辺まちづくり方針、は2040年頃までをスケジュールとして示しており、新・大阪市緑の基本計画は令和7年までを計画期間としております。	(当日回答のとおり)	政策企画
12	まちづくりビジョンとは少し離れるが、日々の暮らしで、自転車がが多く、特に子供を乗せた自転車が信号無視したり、道が狭くてもスピードを出す方が多い。道路を広げるのは難しいと思うが、自転車専用道の設置や若い方への自転車マナー講習を検討していただけないか。	尾柳委員	交通安全マナー向上のため、警察と連携し交通安全マナーアップキャンペーンを実施しております。友渚地域では、ベルファ都島ショッピングセンターで毎年2～3回開催し、地域安全対策チームが、小学校のホームルームや朝礼の中で、自転車のマナー教室を行い、教育的アプローチを行っています。また街頭でもキャンペーンを実施しています。 道路を広げるのは物理的に難しいですが、まちづくりビジョンにおけるテーマとして「車中心から人中心へ」や「ウォーカブルな空間づくり」を掲げており、いただいた意見を今後のビジョン策定の参考とさせていただきたいと思います。	(当日回答のとおり)	防災安全 政策企画

令和7年度 第1回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
13	以前、部会で水辺のにぎわいづくりについて議論を行った。毛馬桜之宮公園は休憩所が少なく、自動販売機もほとんどない状況。これを改善する計画はあるか。	菱池委員	都島区は三方を川に囲まれ、豊かな自然環境が魅力であり、この豊かな自然を区の魅力としてより知っていただく事が重要であると考えています。この豊かな自然の中で皆様が快適に過ごせるような将来像を意識しながら、まちづくりビジョンの策定に取り組んでまいります。	(当日回答のとおり)	政策企画
14	淀川大堰閘門の開通式が行われたが、船の運航状況や計画が不明。住民としていつ船に乗れるのか知りたい。現在どのような状況か。	谷委員	淀川地域の船の定期運行はまだ始まっておりませんが、管轄する国への情報収集に努めてまいります。 都島Meets NATUREのプログラムで川を使ったプログラムを実施していきたいと考えております。情報が整いましたら、まず淀川地域・大東地域の皆様に、情報共有させていただきます。	(当日回答のとおり)	政策企画
15	LINEでの情報発信について、他区より都島区の発信が少なく感じる。もっと見やすく、活発に情報発信をしていただけないか。例えば、東淀川区では、今月既に4回広報誌以外の情報があり、内容がとてもわかりやすい。	西委員	LINEは多くの方が利用する便利なツールと考えており、情報発信を強化してまいります。受信設定を行うことで区や希望するカテゴリーごとに情報を選び受け取ることが可能ですので、広報誌などで周知していきたいと思います。	(当日回答のとおり)	政策企画
16	・高倉地区で子ども会の運動会を実施した際、参加者アンケートは「とても良かった」がほとんどで、「この行事を通じて地域の協力の大切さを学びました」との意見もありました。長く地道に活動していれば、参加したいから、子ども会や町会に入ろうと考える方も増えると思う。 ・町会加入についての議論で、町会に入るメリットをもっと示さないと町会に入ってもらえない、転入した方は、どちらでもいいんだったら入らない、町会費が高いと思われるのなら町会費も見直ししないといけないなどいろんな意見が出た。 魅力があるイベントを創出していければ、若い世代、転入している方にも入っていただけるんじゃないか、そういう気づきがあったので、これからも連携して、そういったイベントが増えていけばいいと思う。	浦出委員 高野委員	人のつながりというのは、これまで培ってきた絆とかいうのも当然大事ですし、これからも大事なことだと思います。そして、地域の皆様のご尽力というのも大変必要不可欠なところで、そのことによって、地域のため、あるいは子どもたちのためということで地域が活性化していく、ひいては区全体にもつながっていけば良いと考えております。	(当日回答のとおり)	政策企画 市民協働

令和7年度 第1回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応	担当
17	都島区まちづくりビジョン2040の資料の中の、南部地域についての説明「駅とまちを一体化する人中心の駅前空間・拠点」や、大阪城公園、OBPから京橋をつなぐ「新しい歩行者ネットワークが形成されウォーカブルな空間が充実する地域といった部分を説明してほしい。 京橋のダイエー跡の開発、OBPから大阪城と京橋駅をつなぐ歩行者道路について、新たにどういふものを作るのか教えてほしい。	屋宮委員	大阪城公園、OBPから京橋駅周辺の歩行者ネットワークについては、大阪城公園周辺地域まちづくり方針で検討されています。現在、南から北、中央区・城東区から都島区へは歩いていただくのが導線上難しいことがあります。具体的な形は今後の検討となりますが、人が都島区に流れるような動きが進む予定です。	(当日回答のとおり)	政策企画